

かせぐみ

◎ お正月あそび

休み明けは 冬休みの楽しさに
出来事を伝える子どもたちでした。
お正月遊びで、福笑いや羽根つき、
自分のコマ作りをしました。
福笑いでは、自分のタオルを巻いて目隠しし、
友だちに見守られながら顔のパーツを
置いていきます。途中、どんな風に
なっているか気になって目隠しの下からチラッと覗く姿も
ありますが、徐々にルールを覚えてきて、福笑いの面白さに
気付いていました。周りの子どもも、やる子どもの置く場所によ
って、楽しそうに笑ったり、「あー！そこちゃう！」と
必死に忠告したりと楽しんでいました。子どもたちが
楽しみにしていた自分のコマ作りでは、絵の具で好きな
色に塗っていきます。色の混ぜ方も楽しみな様子、塗り進めて
いきます。「自分のコマが可愛いようで、待ちきれず、色を塗り
ながら回す子どももいました。黄色い宝箱に入れて遊びたい
時に出して遊んでいます。一人で回して、じっと回す様子を見たり、
友だちと一緒に回すのを楽しんだりしています。



◎ 友だちと

戸外では 子どもたち同士で、
自然と氷鬼、靴かくし、たまり
さんがこうんだなどが始まる
ようになってきました。鬼になって追
いかけることが楽しく、たまりさんが交代
出来ない場面や、やりたい時だけ遊びに
入り、鬼になると遊びから抜けて
しまうことなどが多くあり、
その度に 思いのぶつかり合いが
ありますが、自分の思いも伝えるとともに、相手の
思いも知ることで、納得や解決につなげる場面も多く
見られます。今までは「自分の思いを伝える」ことがメイン
でしたが、「相手の思いを知る」ことにも視野を広げ
ていき、話し合い、友だちと遊ぶ
経験を積み重ねていければと
思います。室内では ままごと
遊びや 粘土遊び、テント作り
なども楽しんでいますが、
リズムで身体を動かすことが
以前よりも 好きになったと感じ
ます。それ、たいよう組と一緒にリズムの
経験を重ねることで、動きも覚えてきて、自信を持って動かす
ようになってきています。友だちと一緒に楽しんでいきたいと
思います。



1がっ かせぐみ クラスだよ

今年は10年に1度の大雪波と言われ、沢山の雪が降り積もりました。
子どもたちは嬉しそうに窓をのぞき、雪が積もって屋根が どんどん
白くなっていくのを見て、朝の歌で歌っている「ゆきのペンキやさん」を口ずさんで
います。厳しい寒さが続いています。風邪や 感染症に気を付けて
元気に過ごしていこうと思います。

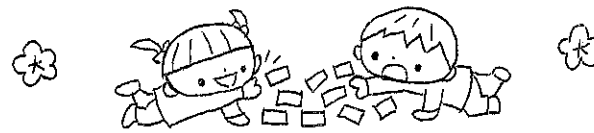
2023.1. 円町まぶね保育園

そらぐみ

今年もよろしくお願い致します。1月もあっという間
に終わり、そらぐみとして過ごす時間も残り2ヶ月
となりました。年明けにこまと凧を作り、正月遊びを楽しみました。
そらぐみから、こまは紐を使ったものになりました。今までの手回しのこま
から一転して、難しくなり最初は「どうやってまわすの?」と戸惑う姿も
見られました。保育者の手元を見て、真似をしながらやってみますが、
途中でぐちゃぐちゃになってしまい、諦めてしまう姿もあります。それでも
やっぱり自分で作ったこまのまわる姿が見たいので、自由遊びの時にも
こまを持ってきて保育者にまわし方を聞きながら少しずつ巻くことが出来
るようになってきました。
今月の後半に大雪が降り、窓から外を見ると真っ白い雪が落ちてくる様子
に喜び子どもたちでした。雪が解けて、氷柱になっているのを見つけて
「さわりたい」と興味津々で外に行きました。触ってみて「つめたっ!」と
一瞬で離れてしまいましたが、何度も触れに行っていました。
来月に制作展もあるので、制作も進めてきました。自分なりにイメージ
を膨らませながら「どうしようかな?」と悩みながら少しずつ完成に
近づいています。おうちの人の見てもらえることを楽しみにしながら、
一人ずつ素敵な作品が出来あがるのを楽しみにしたいと思います。
コロナやインフルエンザも流行っています。引き続き手洗い、うがいを意識
しながら、来月も元気に過ごしていきたいと思います。

子どもの姿

3つ遊びやルールあそびの中でも、子ども同士で「〇〇をやる人」など役割分担
をするようになりました。その中で相手にうまく交渉してみる子どももいれば、相手の
出方を待ってなかなか意見が言えない子どももいます。そこからケンカになってしまう
こともあります。保育者がお互いの気持ちを言う場面を作り、相手の気持ちを
知る機会を作っています。また、今まで楽しんでいったこと(絵描き、生活の流れ
の中で)でも、保育者の顔をうかがいながらするようになるなど、自信が持てない姿も
見られます。4歳児の発達段階で脳の成長とともに子ども自身も不安定になり
急に怒ったり泣いたり甘えたりすること、心の中で葛藤しています。これは子ども
自身が成長している証なのです。思わず叱ってしまうこともあるかもしれませんが、
大きな気持ちで話を聞いたり、気持ちを受けとめてあげられるといいな
と思います。難しい時期でもあるので、家庭と保育園と両方で一緒に
子どもの成長を見守っていけるといいなと思います。



たいようぐみ

雪あそび

何週間も前から完成した帽子をかぶって 花背山村都市
交流の森へ雪あそびに行ってきました。前日から大雪で
ゆっくり ゆっくり バスは走り、予定より1時間遅れて到着。
バスから降りると一面 真っ白で、すぐにでもあそびたい子ども
たちでしたが、一旦お弁当を食べに研究室へ。ちょっとゆっく
りして帽子や手袋をつけて いざ!! まるで雪の中にバタ
と倒れて埋もれたり、穴をほったり、全身で雪の感触を
楽しんでいました。雪合戦しようと雪を丸めようとしても、
サラサラとまとまらず... まとめずに パーっとかけて楽しんで
いました。
もういつまでも あそんでいられそうだったのを声をかけて
そり滑りができる場所へ移動しました。そこにも新雪
がどっさりと積もっていたので、初めは 氷りに座って
滑ろうとしても... あれ? なんがあんなにすべらんなあ... と
足でこいで下まで降りていましたが、何度もくり返して
いるうちに土台も固まってきました。固まってくると
上から下までシューー! と 勢いよく滑れるようになり、
スリルもあり、きゃー!! と叫んだりしてとっても盛り上が
っていました。「つぎは〇〇ちゃん いっしょにしょ」と誘い、
2人乗り、3人乗り でも楽しんでいました。
しばらく遊び元の場所に戻ると 木の下にポムちゃん
からのプレゼントが あけてみると、ビーズのついた
キーホルダーでした。「キラキラでかわいい!」「ひものいろが
ちがう!」と見せ合い、こしていました。また雪あそびを
つくる等してあそび、約2時間 あっという間に過ぎて
いました。ブーツや手袋がぬげたり、動きにくかったり、
慣れない雪に滑りまわされ、帰りのバスはお疲れの不満子
でしたが、またひとつ たいよう組の大切な思い出が
できたかなと思います。

当日は3人お休みで残念でしたが、お友だちから言葉を
きいたり、ポムちゃんのプレゼントをもらったりして一緒に
喜びました。